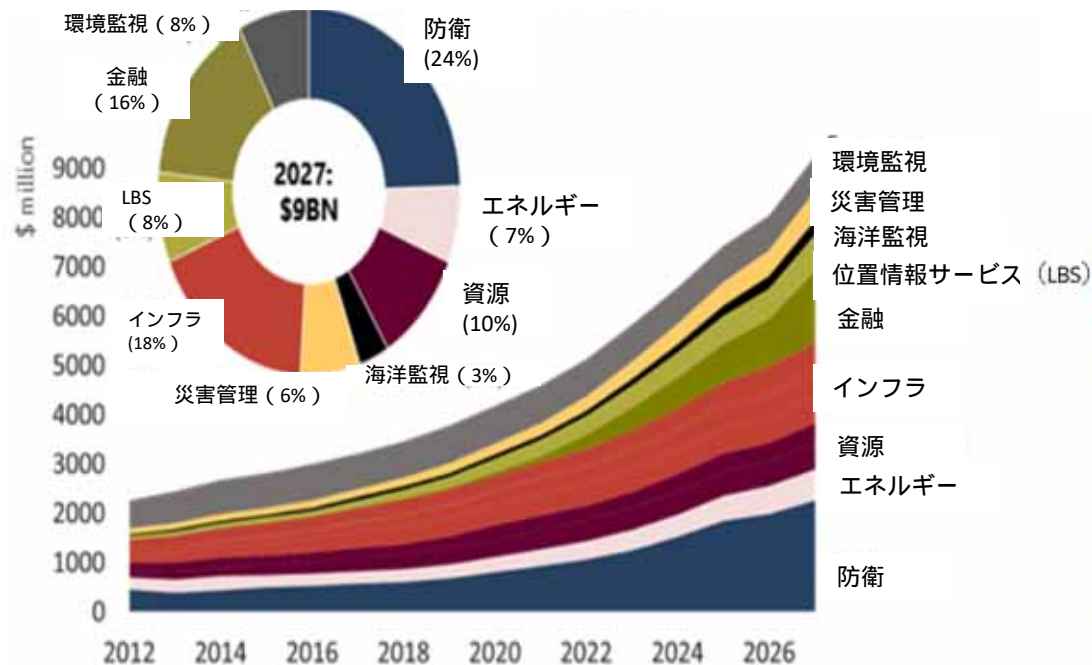


### **3 . 日本の現状と今後の課題**

## 日本の現状 ① 民生利用

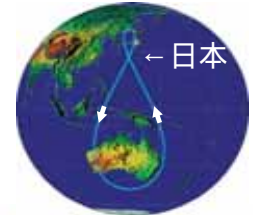
- 衛星画像の利用は、災害復興、漁業、資源開発、温暖化対策等で始まっているが、**ビジネスとしての本格的な利用は、これから。**
- 7 機体制を目指す**準天頂衛星は現状 4 機**。新たなサービス・商品が生み出されつつあるが、**利活用・海外展開推進は引き続き重要。**
- 衛星の技術革新とデータ社会到来で、**衛星通信の可能性拡大。**

< 世界の衛星地球観測市場の予測 (2012-2027) >



Euroconsult 「 SATELLITE BASED EARTH OBSERVATION MARKET PROSPECT TO 2027 」

< 準天頂衛星の活用の動き >



**農業分野**  
内閣府SIPや総務省、  
経産省の実証



**船舶海洋分野**  
無線航法システムの認  
証を取得し利用を促進



**自動車分野**  
自動運転実証実験や  
3次元地図の活用



**物流分野**  
物流無人航空機や  
ドローンでの利用拡大



**観光分野**  
屋外観光案内ロボット



**防災分野**  
メッセージサービス  
を使った避難訓練など

## 日本の現状 ②安全保障

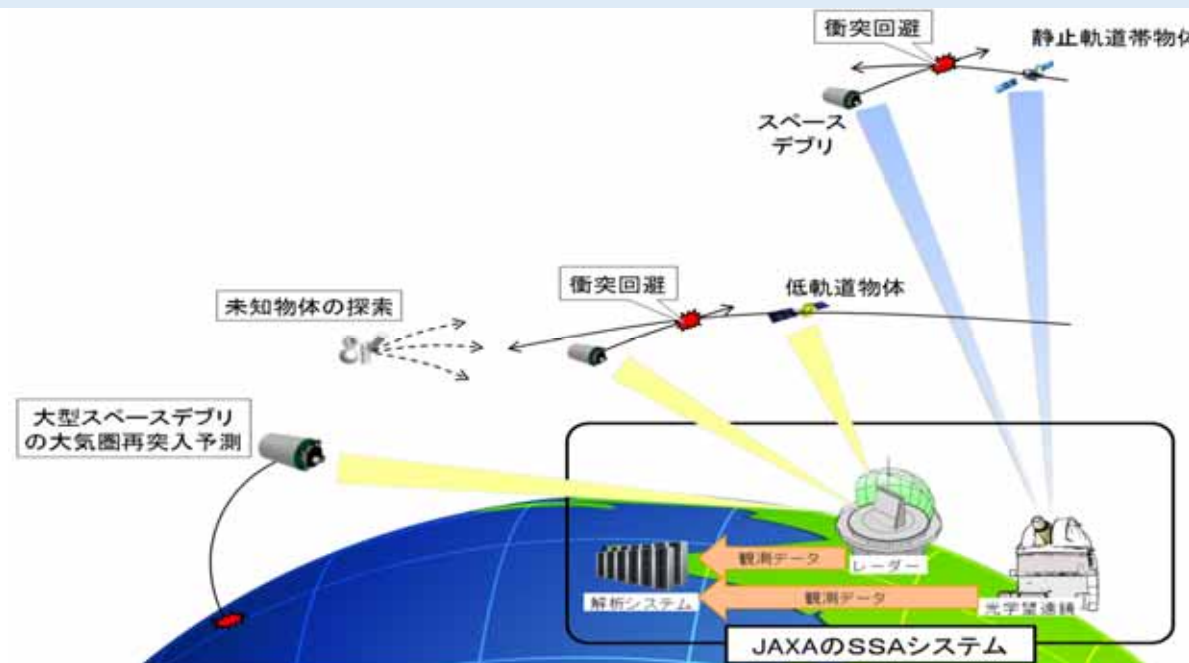
- 我が国も「防衛大綱」を見直し、**宇宙を死活的に重要な領域と位置づけ**。
- **SSAの体制構築、宇宙領域専門部隊の設置**など今後、防衛大綱・中期防の具体化が必要。
- 情報収集衛星については、10機体制整備に向かって取組中。

### 防衛計画の大綱（平成30年12月）※関連部分抜粋

#### I. 策定の趣旨

（前略）

宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の利用の急速な拡大は、陸・海・空という従来の物理的な領域における対応を重視してきたこれまでの国家の安全保障の在り方を根本から変えようとしている。（中略）特に、**宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域については、我が国としての優位性を獲得することが死活的に重要**となっており、陸・海・空という従来の区分に依拠した発想から完全に脱却し、全ての領域を横断的に連携させた新たな防衛力の構築に向け、従来とは抜本的に異なる速度で変革を図っていく必要がある。（後略）



## 日本の現状 ③科学技術・産業基盤

- 衛星・ロケットの小型化・低コスト化などを背景に、**世界では民間宇宙活動が活発化し、宇宙産業は急成長する一方、日本は伸び悩み。**(世界の宇宙市場は直近10年で約2倍に成長。)
- 国内では、ここ数年、**宇宙ベンチャーの動きが活発化**するも、依然として、**高い官需依存。**

### < 宇宙産業の市場規模の推移 >



### < 世界の宇宙市場内訳 >



## 今後考えられる論点

### 1．新たな基本計画の枠組みをどう考えるか

- 時間軸は次の20年（2040年）を見据えた10年計画でよいか
- 安全保障確保、民生利用推進、科学技術・産業基盤維持の3本柱をどう考えるか 等

### 2．Society 5.0を支える社会インフラとして宇宙システムをどう構築するか

- 交通・防災など経済社会活動の基盤となる自立した測位衛星システム
- ユーザーニーズを的確に反映し社会に価値を提供する衛星リモートセンシング
- データ社会を支える衛星通信システム 等

### 3．人類の活動領域の拡大にどのように対応するか

- 宇宙探査への貢献
- デブリ対策など宇宙活動拡大を視野に入れた研究開発・実証、ルール作り 等

### 4．宇宙安全保障の確保をどのように進めるか

- SSA（宇宙状況監視）体制の確立を含む情報収集、測位、通信機能の強化
- 日米協力のさらなる深化
- 宇宙空間自身の戦闘領域化への対応 等

### 5．これらを支える科学技術・産業基盤はどうあるべきか

- 日本の強みはどこか。また、自立性の確保と国際連携のバランスはどのように考えるか
- 政策の優先順位をどのように考えるか。官と民の役割分担をどう考えるか
- イノベーション政策との連携、競争力確保に向けた制度や人材育成はどうあるべきか 等

## 今後の検討スケジュール（予定）

- 第1回：10月3日（本日）      キックオフ
- 第2回：10月18日              研究機関・関係団体・有識者ヒアリング
- 第3回：11月初旬              関係府省ヒアリング
- 第4回：11月下旬              進捗整理
  - 11月末      宇宙政策委員会への進捗報告
- 12月～                      新宇宙基本計画の具体案検討
- 来年3月末                      新宇宙基本計画素案策定
- 来年6月                      新宇宙基本計画決定